

経 済 日 誌

兵庫県

2022年10月～12月

10 / 7 上半期 県内の倒産8・2%減

帝国データバンク神戸支店によると、22年上半期（4～9月）の県内企業の倒産件数は、前年同期比8・2%減の157件、負債総額は同58・0%増の239億4800万円であった。コロナ禍での各種支援策が寄与し過去10年の上半期最少件数を更新した。

10 / 13 21年度県内観光客13%増

21年度に県内を訪れた観光客は8566万人となり前年度比で13・8%増加した。旅行キャンペーン（県民割）等の需要喚起策により回復したものの、コロナ禍前の水準には戻っていない。

10 / 25 神戸空港上半期旅客数倍増

関西エアポートによると、22年度上半期（4～9月）の神戸空港の旅客数は前年同期比97%増の142万人と、ほぼ倍増した。また、乳幼児を含まない神戸市の従来基準でも同じく97・2%増であった。ただし、

いずれもコロナ禍前の8割強にとどまっている。

11 / 2 神戸手形交換所125年の歴史に幕

神戸銀行協会は、神戸手形交換所の業務を終了し、125年の歴史に幕を閉じた。開設は1897（明治30）年と、大阪、東京に次いで全国で3番目に古い。4日からは、これまでの金融機関が手形・小切手を持ち寄って交換決済する光景は姿を消し、電子交換所を通じた金融機関間でのデータ送受信によって決済が完結することになる。

11 / 7 神戸商工会議所新体制発足

神戸商工会議所は、会頭が6年ぶりに交代し、新体制をスタートさせた。新会頭には川崎博也・神戸製鋼所特任顧問が就任、6人の副会頭のうち3人が交代し、新体制のもと、中小企業の支援、地域経済の活性化を柱に、事業展開をしていく。

11 / 14 スパコン富岳6期連続世界一

理化学研究所と富士通が共同開発したスパコン「富岳」は、計算性能に関するランキングの2部門において6期連続世界一になった。1位が続いている部門は、産業利用などの「HPCG」と、大規模グラフ解析に関する「Graph500」の2つである。

11 / 24 兵庫津ミュージアム「はじまりの館」開館

「兵庫津」の歴史と「ひょうご五国」の魅

力を紹介する「ひょうごはじまりの館」が開館した。21年11月に先行開館した復元施設「初代県庁館」と合わせ、2館が一体となった新しいタイプの施設となっている。

12 / 1 神戸港「グローバル港湾水素連合」国内初加入

神戸市は、地球温暖化対策として港湾での水素利用を進める国際的組織「CEMグローバル港湾水素連合」に神戸港が加入したと発表した。国内の港湾では初めてとなる。先行する欧州の港湾の水素活用は最新動向等を共有しながら、神戸港の脱炭素化を進めるためのカーボンニュートラルポット（CNP）の取り組みを推進していく。

12 / 12 県内企業の景気判断改善

神戸財務事務所の10～12月期の兵庫県下の法人企業景気予測調査によると、全産業の景況判断指数（BSI）は前期比11・3ポイント改善の▲1・2となった。製造業は▲3・3と伸び悩んだが、非製造業は0・5と4四半期ぶりに「上昇」超だった。

12 / 14 日銀短観2四半期ぶりに悪化

日銀神戸支店の県内短観では、業況判断指数（DI）が全産業でプラス2と9月の前回調査から1ポイント悪化した。悪化は2四半期ぶりとなる。業種別では製造業が▲3（前回は2ポイント悪化）、非製造業がプラス7（同3ポイント悪化）となった。